

こども消費生活サポーター活動報告 第1回事業者訪問

2024. 7. 30㊤

ア・テ・スエ！

『こども消費生活サポーターは、
「つくり手」（生産者）と「つかい手」（消費者）をつなぎます』

7月30日（火）にア・テ・スエ！（若王子1丁目 蓮華寺池公園内）の代表 柿崎裕乃さんを訪問し、お話を伺いました。

柿崎さんが営むお店「ア・テ・スエ！」はフェアトレード商品やオーガニック製品、藤枝市内や静岡県内の作家さんが製作したアクセサリ、地元産の食品など、人・環境・地球にやさしい商品を扱うお店です。商品にはひとつひとつ手書きのポップがつけられています。「ひとりでも多くの人に、生産者の思いが詰まった商品を手に取ってもらうことで、児童労働をする子どもが救われ、人々が住む地球の環境が良くなることを願ってこのお店を営んでいる。」というお話から、

柿崎さんの商品への思いや、社会や環境に配慮し、持続可能な未来を目指す思いが伝わってきました。

日々の買い物の中で、値段や見た目だけではなく、その商品にはどんな生産者の思いがあるのか、どんな環境で何を使って作られているのか、などを考えながら商品を選び、それを大事に、できるだけ長く使うことがエシカル消費につながっていることを学びました。



○サポーターが感じた「つくり手」（柿崎さん）の思い

- ・正しい価格で取引するフェアトレード商品を広めたい
- ・人にも環境にもやさしい意味のある商品を扱ってSDGsへ貢献している

○サポーターが「つくり手」に伝えたいこと

- ・農薬や化学肥料が使用されていない食べ物を買ってみたい
- ・安い物だけではなく、つくり手の思いを考えて買い物をしたい
- ・自分のことだけでなく、世界のことを思って行動しているのがかっこいいと思った
- ・柿崎さんの色んなアイデアが素敵だなと思ったので自分も真似したい

☆アクション宣言☆

～消費者としてのこれからの行動～

- ・環境や社会への影響を考えられた商品なるべく買う
- ・地産地消やフェアトレードの物を買ってみる
- ・安いだけで選ばないで、つくり手の考えや思いを考えて買い物をする
- ・リサイクルをしたり、物を大切に長く使う
- ・少ない給料で働く人を減らすために少し値段が高くてフェアトレード商品を買いたい

